

2010年2月16日

仏クレルモンフェラン 2010年2月12日発表プレスリリース抄訳

コンパニー・ジェネラル・デ・ゼタブリスマン・ミシュラン
2009年度期末業績

ミシュランは、リセッションの中主要な財務指標を強化

売上高は 148 億ユーロで 9.8%減にとどまる

営業利益率(特別損益算入前)は小幅上昇して 5.8%

フリーキャッシュフローは 14 億ユーロのプラス

- 営業利益（特別損益算入前）は、2008 年度が 9 億 2000 万ユーロであったのに対して、8 億 6200 万ユーロとなりました。これは以下の要因によるものです。
 - 販売量が 14.8%と大幅に減少
 - 生産設備の遊休化これらの要因は以下により一部補われました。
 - 原材料コストが 3 億 1800 万ユーロ減少
 - グループの安定した価格政策とミシュランブランドの底力
 - 競争のための構造改革
- リストラ費用が 4 億 1200 万ユーロと高水準であったにも関わらず、純利益は 1 億 400 万ユーロとなりました。
- 特に運転資金と設備投資を厳しく管理した結果、負債比率は 55%の記録的低水準に抑えられました。
- 2010 年もフリーキャッシュフローをプラスにできる予定です。
- 2009 年度について 1 株当たり 1.00 ユーロの配当を 2010 年 5 月 7 日の株主総会で提案予定です。

マネージング・ゼネラル・パートナーのミシェル・ロリエは、次のように述べています。「成熟国を中心にタイヤ需要が記録的に落ち込む中、ミシュランは迅速に、かつてないほど機敏に対応することができました。我々のチームの熱心な取り組みや厳しい管理の結果、ミシュランは堅調な業績をあげ、今後の成長の礎になる主要な財務指標を改善させました。

2010年初めの市場における見通しや、原材料コストの上昇（特に天然ゴム）を受けて、我々は非常に警戒感を持っています。このためミシュランは、競争力の維持とリーダーシップの増強に鋭く焦点を絞っています。2009年と同様改革を惜しまず、コスト規律を維持し、さらに成長国に投資して今後の成長の可能性を高めていきます。社員一丸となってミシュランは自信を持って2010年のスタートを切っています。」



(単位：百万ユーロ)	2009	2008	増減率
売上高	14,807	16,408	-9.8%
経常利益	862	920	-6.3%
経常利益率	5.8%	5.6%	+0.2 pts
乗用車・ライトトラック用タイヤ および関連販売事業	8.0%	4.3%	+3.7 pts
トラック用タイヤ および関連販売事業	(1.5%)	2.5%	-4.0 pts
特殊事業	13.3%	17.9%	-4.6 pts
税引前当期純利益	450	843	-46.6%
純利益	104	357	-70.9%
設備投資	672	1,271	-47.1%
純債務	3,051	4,273	-28.6% ¹
負債比率	55%	84%	29-pt 改善 ¹
フリーキャッシュフロー ²	1,387	(359)	+17 億 4600 万 ユーロ
従業員数 ³	109,200	117,600	-7.1%

¹ 2008 年 12 月 31 日との比較

² 営業活動によるキャッシュフロー- 投資活動によるキャッシュフロー

³ 期末現在

